

私はこうして学生と向き合ってきた

日々出会うさまざまな悩み



カリキュラムの改正に伴い、刻々と指導内容が変化する看護教育の現場において、本誌読者のみなさんは、日頃からより良い教育を目指し、教授方法の改善に尽力されていることと思います。

そのような日々の取り組みのなかで、現代の若者特有の性質をもった学生との関わりに戸惑いを覚えることは少なくないのではないのでしょうか。「どうもやる気のない学生が多いように感じる」「学生とうまくコミュニケーションがとれない」「なぜ常識が通じないのか」「別の指導方法はないのだろうか」「他の専門学校・大学ではどう教えているのだろう」、などといった悩みや疑問をおもちの先生方が大勢いらっしゃるものと推察します。

今回の特集では、よく耳にするこのような“お悩み”を、その場面や内容から ①学内講義における教育・学習、②臨地実習における教育・学習、③学生の態度・志向性 と大きく3つに分類しました。多くの看護教員が悩み困っている問題を取り上げ、その解決へのヒントを共有していく場にしたいと考えています。同じ悩みを抱えた他の学校の教員は、どのように学生と向き合っているのでしょうか。その工夫にふれ、今後の学生指導の参考にしていただければと思います。